

ポーランド大統領選、 ドゥダ氏が再選

2020年7月12日(日)に、ポーランド大統領選の決選投票が行われた。先月28日に第1回目の投票が行われたが、そこで首位のドゥダ氏の得票数が過半数を超えなかったため、得票数2位のトゥシャスコフスキ氏との決選投票が行われることになったのだ。1回目の投票でも投票率が64%を超えていたが、今回の決選投票の投票率も68.1%と高水準であった。この数字は過去25年間で最高の投票率であり、今回の大統領選への関心の高さが伺える。

投票日に国営放送 TVP が行った出口調査では、ドゥダ氏が50.4%、トゥシャスコフスキ氏が49.6%の得票率と速報され、正式な発表が出るまではどちらが勝ってもおかしくない状況であった。

結果はドゥダ氏に、得票率51.03%(得票数：10,440,648票)で軍配が上がった。

○支持層がはっきりと分かれるかたちに

ポーランドにある16州のうち10州では、ドゥダ氏よりトゥシャスコフスキ氏を支持する投票者の割合が多かった。

ポーランドの放送局 TVN が作成した県ごとの勝利候補者を表す地図を見ると、国民の意見が東西で割れていることが分かる。

県ごとの勝利候補者

(青：ドゥダ氏が勝利した県、橙：トゥシャスコフスキ氏が勝利した県)



図出典：
<https://tvn24.pl/wybory-prezydenckie-2020/wyniki-wyborow-prezydenckich-2020-jak-glosowano-w-województwach-mapa-4636461>

ドゥダ氏は東部や地方に住む人々、特に高齢者から多くの支持を集めた。

一方でトゥシャスコフスキ氏へは、西部や大都市のリベラル層からの支持が厚い。

なお、在日ポーランド人の投票結果はトゥシャスコフスキ氏に482票、ドゥダ氏に85票であった。

クラクフ発：世界に進出するスタートアップ企業

Brainly

創業：2009年

従業員数：294人(2020年7月時点)

分野：教育・IT系

CEO: MICHAŁ BORKOWSKI

(ミハウ・ボルコフスキ)

サービス内容：

中等教育過程に通う生徒を対象としたソーシャルラーニングプラットフォームを提供。YAHOO知恵袋のような質問掲示板形式を取り、生徒らは宿題や日々の勉強に関する質問を行うことができる。これに匿名の利用者からの回答を得られる。現在の月間ユーザー数は、全世界で2億人超である。

創業当初は、ポーランド語のみでサポートを行う ZADANE.PL というサービスであり、サービス開始からわずか半年後に月間100万アクセスを達成する急成長を遂げた。その後ロシア語圏を皮切りに海外市场に進出し、現在では35か国以上でサポートが行われている。近年では奨学金制度を設立するなど、プラットフォーム運営の枠を超え教育分野での事業拡大を図っている。

特色：

このような掲示板には、スパムや悪質な誤答などがつきものである。これに対して、モデレーターシステムを導入し対応している。モデレーターはボランティアであり、回答内容の確認・精査の役割を担う。このお陰で回答の信頼性が担保されており、ユーザーの強い支持を集めている。このボランティア集団は教師や教育関係者などで構成されており、教育関係者の良質なコミュニティとしても地位を築いている。そのため、ボランティアであってもモデレーター希望者は絶えないとのことである。